

2024年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024年11月13日
株式会社ズーム

対前年同期比減収も、計画(修正業績予想)比ではプラスで着地 8月以降の為替相場の想定外の急変動により売上総利益率が低下し、減益

売上高

12,121百万円

(前期比△491百万円)

(計画比+150百万円)

- 市況感の悪化による対前年同期比での減収は、**計画(修正業績予想)**で折り込み済
- 米国で期末出荷分が4Qにずれ込んだ影響や、欧州やアジアで一部受注が取り切れず対計画比では外貨ベースで微減も、**円建てではプラスで着地**

営業利益

△97百万円

(前期比△491百万円)

(計画比△132百万円)

- 売上同様、対前年同期比での減益は折り込み済
- 8月以降の**為替相場の想定外の急変動**により、製品の仕入時の為替レートよりも販売時の為替レートが円高に振れたため**一時的に売上総利益率が低下し、減益**

通期の見通し

- 3Qに**新製品を続々とリリース**。4Qから本格展開となるため、**年末商戦での売上増を見込む**
- 加えて、欧米における年末商戦は昨年より回復基調にあるため、**業績予想は据え置き**

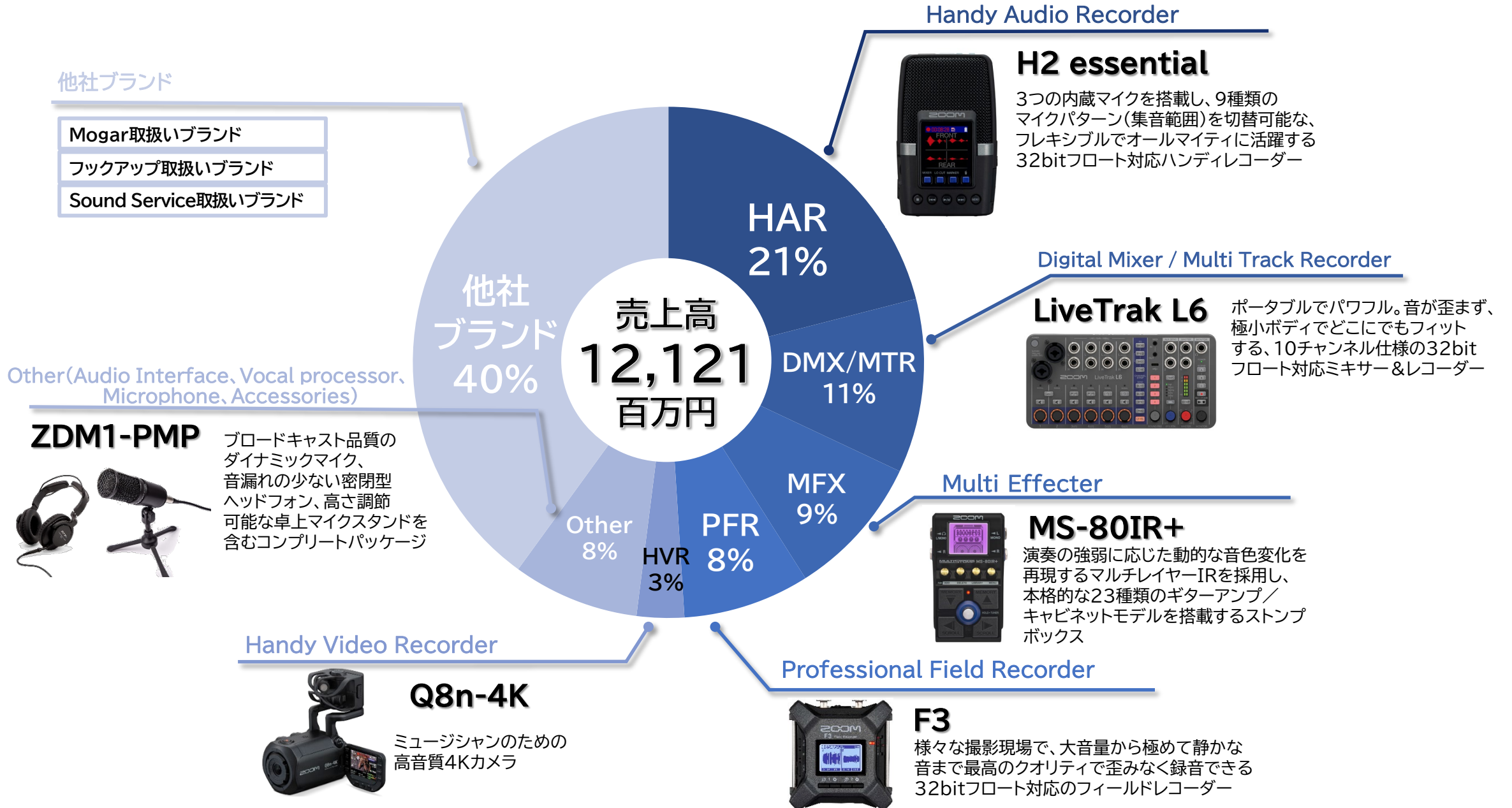
I. 2024年12月期 第3四半期決算

2024年12月期 第3四半期 連結損益計算書(要約)

(百万円)

	2023.12期 第3Q実績	2024.12期 第3Q実績	増減額	摘要
売上高	12,162	12,121	△491	・市況感の悪化による対前年同期比での減収は修正業績予想で折り込み済 ・計画比では外貨ベースで微減も、円建てではプラスで着地
売上総利益 (売上総利益率)	4,931 (39.1%)	4,677 (38.6%)	△253	・8月以降の為替相場の想定外の急激な変動による一時的な売上総利益率の悪化
営業利益 (売上高営業利益率)	342 (2.7%)	△97 (△0.8%)	△439	※営業利益の増減分析(P7)を参照
経常利益 (売上高経常利益率)	272 (2.2%)	△141 (△1.2%)	△413	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高中間純利益率)	△82 (△0.7%)	△464 (△3.8%)	△382	・のれん償却費に節税効果がないことや、課税所得の減少に伴う繰延税金資産の一部取崩し等により、法人税等を248百万円計上 ・持分51%連結子会社の利益の49%分を、非支配株主持分へ75百万円振替え
EBITDA	954	507	△447	EBITDA=営業利益+※減価償却費
減価償却費	※612	※604	△8	※のれん償却費352百万円(前年同期323百万円)を含む
研究開発費	674	725	50	
為替差損益	28	△39	△68	
平均為替レート(円/米ドル)	138.1円	151.2円	+13.1円	

※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が521千円増加したため、2023.12期第3Q実績を変更しております。



多くのカテゴリーにおいて前年同期の一時的な需要増による反動減があるものの、
修正業績予想で折り込み済

(百万円)

	2023.12期 3Q実績	2024.12期 3Q実績	前年比 (為替影響除外)	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	2,707	2,592	△4.3% (△12.3%)	・前年同期に旧製品のクローズアウトセールを実施した一時的な需要増に伴う反動減 ・新製品H-essentialシリーズは順調な売れ行き
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,312	1,295	△1.3% (△9.2%)	・半導体不足から前年同期に売上が急増したLシリーズの反動減 ・北米地域でのR4の新製品効果 ・新製品LiveTrak L6を9月にリリース。年末商戦での売上増を見込む
マルチエフェクター (MFX)	1,118	1,119	0.1% (△6.0%)	・新製品であるMS+シリーズが国内で予想を上回る好調。4Qから海外で本格展開予定 ・前年同期にG2 FOURシリーズの新製品効果があった反動減
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	1,397	991	△29.1% (△34.4%)	・半導体不足からの供給正常化に伴い、前年同期比は一時的な需要増があったため、 当期はディーラーの在庫調整が入った ・当期は新製品をリリースせず
ハンディビデオレコーダー (HVR)	417	408	△2.2% (△11.1%)	・前年同期は南欧で政府機関への大量納入という一時的な需要増があったことによる反動減 ・当期は計画通りに推移中。特に北米地域で売上増
その他	893	943	+5.5% (△2.9%)	・前年同期にHAR旧製品のクローズアウトセールを実施した一時的な需要増に伴う反動減 ・新製品H-essentialシリーズのアクセサリは順調な売れ行き
Mogar取扱いブランド	811	880	+8.5% (△1.3%)	・Zildjianブランドの取り扱いを終了したことによる減少 ・円安による増加(ユーロ建て売上は減少)
フックアップ取扱いブランド	1,084	1,187	+9.5%	・主要ブランドであるUniversal AudioやIK Multimediaの新製品の発売及び セールの実施による増加
Sound Service取扱いブランド	2,868	2,708	△5.6% (△15.0%)	・Blackstarブランドの取り扱いを終了したことによる売上減 ・Nordブランドで前年同期に新製品の発売があった反動減
合計	12,612	12,121	△3.9% (△11.2%)	

新製品を優先的に出荷した日本の売上は増加するも、
海外での新製品効果は4Qからと織り込んでおり、3Qにおける比較では減少

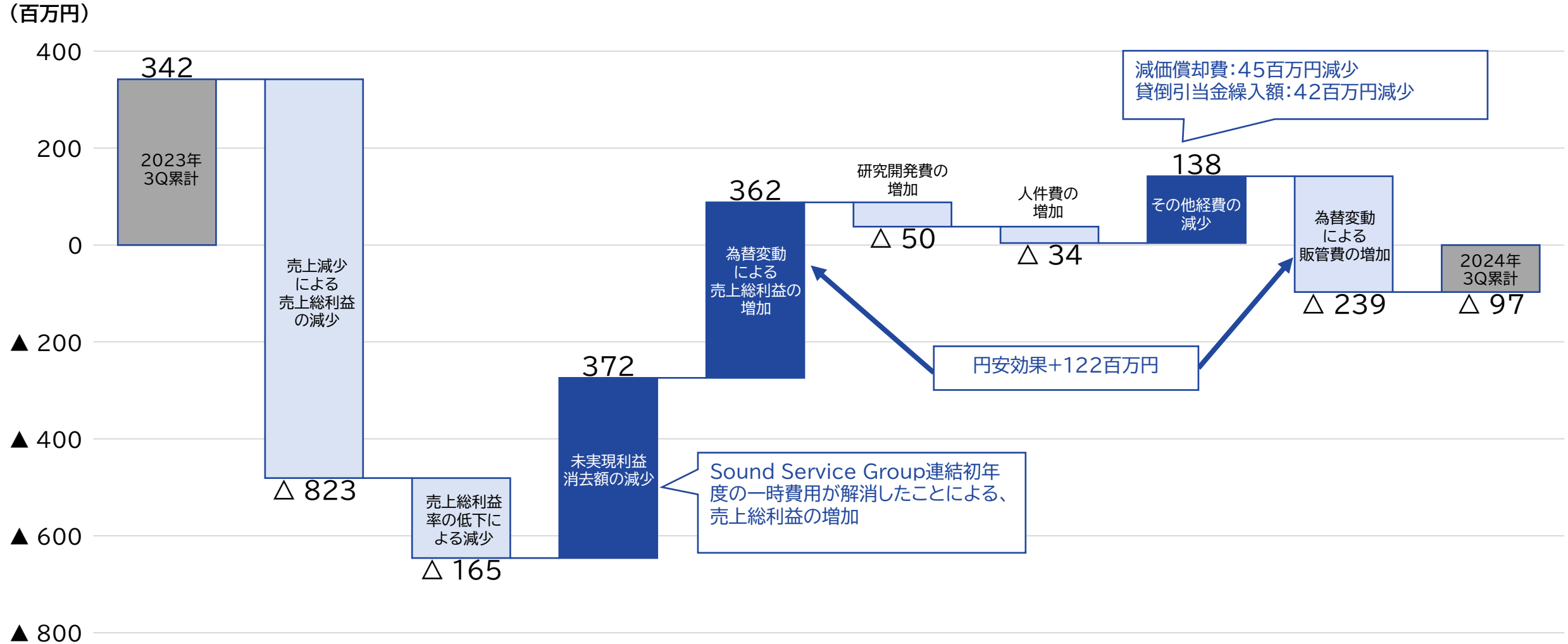
(百万円)

	2023.12期 3Q実績	2024.12期 3Q実績	前年比 (為替影響除外)	売上高の増減要因
中央ヨーロッパ ※1	4,595	4,622	+0.6% (△8.7%)	<ul style="list-style-type: none"> Blackstarブランドの取り扱いを終了したことによる売上減 Nordブランドで前年同期に新製品の発売があった反動減 円安による増加(ユーロ建て売上は減少)
北米	2,981	2,670	△10.4% (△18.2%)	<ul style="list-style-type: none"> HARカテゴリーにおいて、前年同期に旧製品のクローズアウトセールを実施した一時的な需要増に伴う反動減 新製品H-essentialシリーズは順調な売れ行き
日本	1,766	2,053	+16.2%	<ul style="list-style-type: none"> ズーム製品がH-essentialシリーズやMS+シリーズの新製品効果により増加 フックアップが主要ブランド新製品及びセール実施により増加
南ヨーロッパ ※2	1,841	1,743	△5.3% (△13.9%)	<ul style="list-style-type: none"> Zildjianブランドの取り扱いを終了したことによる減少 ズーム製品は前年同期の一時的な需要増を当期の新製品投入でカバーできず
その他	1,427	1,032	△27.7% (△35.2%)	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア▲81百万円、中国▲73百万円 フィリピン▲39百万円、シンガポール▲37百万円
合計	12,612	12,121	△3.9% (△11.2%)	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

対前年同期比での減益は修正業績予想で折り込むも、
8月以降の想定外の為替相場の急変動により売上総利益率が一時的に低下し、3Qは減益



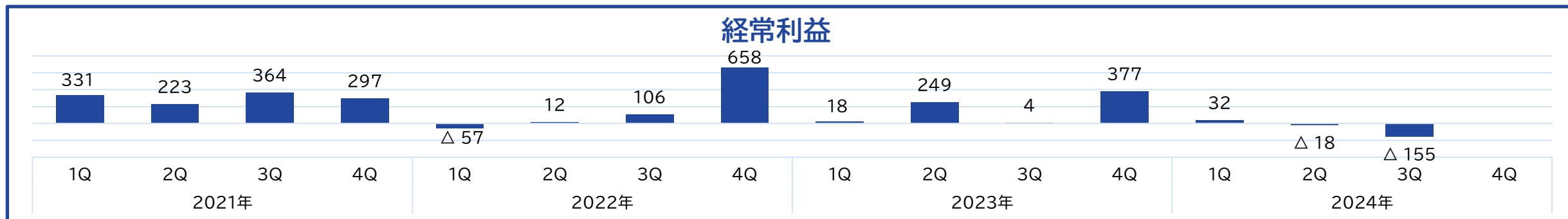
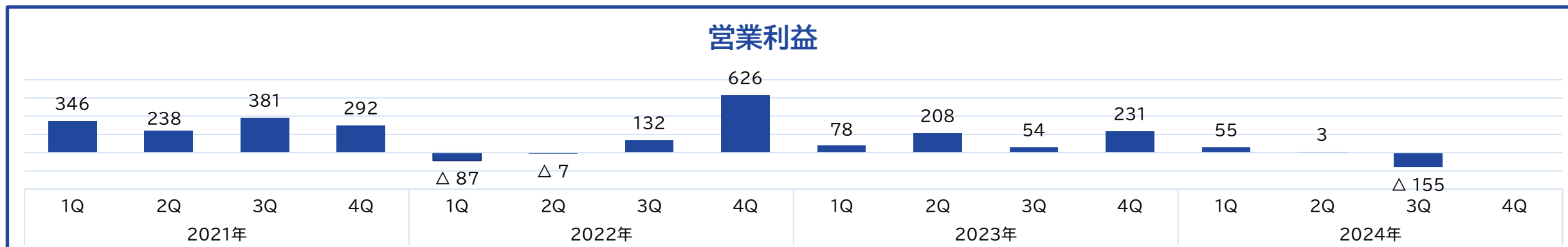
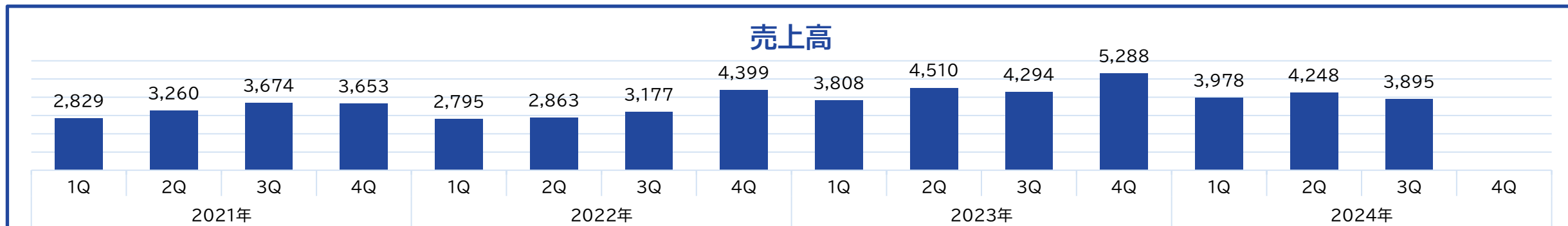
※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が521千円増加したため、2023.12期第3Q実績を変更しております。

2024年12月期 第3四半期 連結貸借対照表(要約)

(百万円) ※末日レート 23.12期末:1\$=141.8円、24年12期第3Q末:1\$=142.73円

	23.12期末	24.12期 第3Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	13,721	13,523	△467	
現預金	2,847	2,593	△254	在庫増等による運転資金の減少
受取手形及び売掛金	2,267	1,458	△809	売上減少:前期4Qは5,288百万円、当期3Qは3,895百万円
商品及び製品	6,668	7,447	779	新製品の増加に加え、年末商戦に向けた在庫の積み上げ
原材料及び貯蔵品	1,106	1,074	△31	
固定資産	5,538	5,032	△505	
有形固定資産	1,491	1,393	△98	
無形固定資産	3,287	3,000	△286	償却により、のれんが300百万円減少
投資その他の資産	759	638	△121	繰延税金資産が113百万円減少
資産合計	19,260	18,286	△973	
流動負債	7,143	6,951	△192	
買掛金	1,396	1,332	△63	
短期借入金	3,410	3,718	308	運転資金の借入
固定負債	4,193	3,800	△392	
負債合計	11,336	10,751	△585	
資本金	212	212	—	
純資産合計	7,923	7,534	△388	繰越利益剰余金599百万円減少(親会社当期純利益△464百万円)
負債純資産合計	19,260	18,286	△973	

(百万円)



※Sound Service Groupののれん金額の確定に伴い、のれん償却費が521千円増加したため、2023.12期第3Q実績を変更しております。

Ⅱ. 2024年12月期 業績予想

7月以降、新製品を続々とリリース。海外での本格展開は4Qとなることから、
 年末商戦での売上増を見込み、業績予想は据え置き

(百万円)	23.12期	24.12期				
	実績	8/14修正予想	増減額	増減率	3Q実績	進捗率
売上高	17,901	17,500	△401	△2.2%	12,121	69%
営業利益	573	730	+156	+27.3%	△97	—
経常利益	649	640	△9	△1.5%	△141	—
親会社株主に帰属する当期純利益	88	30	△58	△66.3%	△464	—
EBITDA	1,378	1,466	+87	+6.3%	507	35%

一株当たり当期純利益	20.64円	6.89円	△13.75円	△66.6%
一株配当	30円	31円	—	—
配当性向	145.3%	450.1%	—	—
為替レート(円/米ドル)	140.5円	142.3円	—	—

※ 為替感応度(為替相場の変動が年間利益に与える影響):1円の円高(円安)で営業利益が約21百万円減少(増加)

2024年12月期の配当は1株当たり31円の予定(据置)

配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重要な課題と認識しており、事業年度ごとの利益の状況、将来の事業展開などを勘案しつつ、安定した配当を維持することにより株主の皆様への利益還元に努めてまいります。
具体的には、配当性向30%以上を目安に減配なしの累進配当を実施する方針としております。

2024年8月14日に業績予想を下方修正いたしました。上記方針を踏まえて1株当たり年間配当予想は31円のまま据え置きといたします。

配当の状況	22.12期(実績)	23.12期(実績)	24.12期(予想)
親会社株主に帰属する当期純利益	377百万円	88百万円	30百万円
配当金総額	214百万円	129百万円	135百万円
1株当たり年間配当	50円	30円	31円
配当性向	56.6%	145.3%	450.1%



(ご注意)本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります